

エランコ ワクモ駆除Webinar

Elanco

配信期間

6/23_金～8/4_金

養鶏場におけるワクモ駆除対策

令和5年4月29日
全農家畜衛生研究所 村野 多可子



効果的な ワクモ駆除について 解説!!

講演① 約25分

養鶏場における ワクモ駆除対策

講師

全農家畜衛生研究所 村野 多可子先生

講演② エランコ製品を用いたワクモ対策のご提案
エランコジャパン 学術

※ご視聴いただくには当社Webシステムへの登録が必要になります。(事前登録可能)

登録方法・視聴の流れ

- ① 右記URL又はQRコードよりWebシステムにご登録ください。
- ② 記入後に表示されるリンクより特設ページにアクセスしご視聴ください。
- ③ 再度特設ページにアクセスする場合は、ページをブックマークしておくことをお勧めします。

※登録用URLから再度アクセスいただくと、再度登録作業が必要になりますのでご注意ください。
※Webinar配信期間前に事前登録いただいた方には、特設ページ開設後、メールにて視聴用リンクをお届けしますので、そちらからアクセスください。
※ご不明点等は、弊社担当者又は【marketing_jp@elancoah.com】にご連絡ください。

【個人情報の取り扱いについて】

ご記入いただきましたお客様情報は、個人情報保護法に基づき作成された弊社プライバシーポリシー(https://privacy.elanco.com/ja-jp)にのっとり運用し、次の目的以外に使用することはありません。
1. 弊社製品に関連するご案内、各種情報提供 2. 本動画配信に関わる運営や内容に関するご案内


登録用URL

<https://forms.office.com/r/i3KuJtcnFU>



Elanco

エランコジャパン株式会社

Elanco及び  : エランコ又はその関連会社の商標です。

PM-JP-23-0254-PC

エランコ ワクモ対策製品ラインナップ

スピノシン系殺虫剤 動物用医薬品 使用基準

エコノサド[®]

●成分及び分量

100mL中スピノサド(スピノシンA+D)48.0g

●効能または効果

鶏舎内のワクモの駆除

●用法および用量

本剤を水で120倍に希釈し(スピノサドとして0.4%(w/v))、ケージ底面積1㎡当たり400~500mL、鶏舎内のワクモの発生又は生息場所に単回散布する。

●注意

使用に際しては、製品に記載の使用上の注意をよく読んで使用してください。

使用禁止期間:

鶏:食用に供するためにと殺する前2日間

注)卵には使用禁止期間はありません(0日)

カーバメイト系殺虫剤 動物用医薬品 劇薬 使用基準

サンマコー[®]水和剤75%

●成分及び分量

100g中カルバリル75g含有

●効能または効果

- (1)家畜・家禽の外部寄生虫の駆除
牛(搾乳牛を除く。):マダニ、サシバエ、ノサシバエ、シラミ、ノイエバエ
鶏:ワクモ、トリサシダニ、ハジラミ
- (2)牛・鶏舎内部及びその周辺の衛生害虫(カの成虫及びワクモ)の駆除
- (3)牧野のマダニの駆除

●用法および用量

- (1)1日1回を限度とし、外部寄生虫の寄生の甚だしい家畜・家禽に対し、カルバリルとして0.5%となる水希釈液を直接噴霧する。
- (2)牛・鶏舎内及びその周辺の衛生害虫の発生又は生息する場所に目的に応じて水で希釈して使用する。
カの成虫:カルバリルとして2.5%となる水希釈液を、1㎡につき80mL
牛・鶏舎壁面に残留噴霧する。
ワクモ:カルバリルとして0.1~0.5%となる水希釈液を、1㎡につき50mLワクモの生息場所に散布する。
- (3)牧野10aにつきカルバリルとして1~3%となる水希釈液を2~6L均一に散布する。

●注意

使用に際しては、製品に記載の使用上の注意をよく読んで使用してください。

使用禁止期間:

牛(搾乳牛を除く。):食用に供するためにと殺する前7日間

鶏:食用に供するためにと殺する前7日間

又は食用に供する卵の産卵前1日間

カーバメイト系殺虫剤 動物用医薬品 劇薬

ボルホ[®]・50%

●成分及び分量

品名	ボルホ・50%
有効成分	プロポクスル
含量	本品100g中、プロポクスル50.0gを含有する。

●効能又は効果

- (1)家畜・家禽の外部寄生虫の駆除
牛:マダニ、カイセン虫、ノサシバエ、アブ、シラミ、ハジラミ
豚:カイセン虫
鶏:ワクモ、トリサシダニ、ハジラミ
- (2)畜・鶏舎内及びその周辺の衛生害虫(ハエ・カの成虫、ワクモ及びゴキブリ)の駆除

●用法及び用量

- (1)外部寄生虫の寄生の甚しい家畜・家禽に対し、プロポクスルとして0.1~0.25%となる水希釈液を直接噴霧する。
休業期間:本剤投与後、下記の期間は食用に供する目的で出荷等を行わないこと。
牛:4日間 豚:4日間 鶏:34日間
- (2)畜・鶏舎内及びその周辺の衛生害虫の発生又は生息する場所にプロポクスルとして0.1~0.25%となる水希釈液を、適宜虫体に直接噴霧するか、又は1㎡につき500~1,000mLを残留噴霧する。

有機リン系殺虫剤 動物用医薬品 劇薬

ネグホン[®]

●成分及び分量

本品100g中に、トリクロルホン97.0gを含有する。

●効能又は効果

- (1)家畜及び家禽の外部寄生虫の駆除
牛:マダニ、シラミ、サシバエ、ノサシバエ
豚:シラミ
鶏:ワクモ、トリサシダニ、ハジラミ
- (2)畜・鶏舎内及びその周辺の衛生害虫(ハエ・カの成虫及び幼虫、ワクモ、サシバエ成虫)の駆除

●用法及び用量

- (1)外部寄生虫の寄生の甚しい家畜・家禽に対し、トリクロルホンとして0.1~0.5%となる水希釈液を直接噴霧する。
休業期間:本剤投与後、下記の期間は食用に供する目的で出荷等を行わないこと。
牛:14日間、豚:2日間、鶏:20日間
- (2)畜・鶏舎内及びその周辺の衛生害虫の発生又は生息する場所に、目的に応じて水で希釈して使用する。
ハエ・カ・サシバエ成虫、ワクモ:トリクロルホンとして0.5%となる水希釈液を、適宜虫体に直接噴霧するか、又は1㎡につき50mLを残留噴霧する。
ハエ幼虫(ウジ):トリクロルホンとして0.05%となる水希釈液を1㎡につき2L幼虫の発生する場所に散布する。
カ幼虫(ボウフラ):発生場所の水量1㎡につきトリクロルホンとして3gを、適宜水で希釈して散布する。